

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	◎	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが終息しても、すぐに現状は変わらないと思うので、夜の街関連等の消費がスーパーに回る傾向は続くのではないかと考えている。
(四国)	◎	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス禍のなかでも新生活や各社の新料金プラン導入で市場の動きが活発になると想定している。
	○	商店街（代表者）	・第3波が少し収まっていることと、ワクチン接種の情報がかなり入っていることから、消費マインドが上昇してくると思う。
	○	スーパー（店長）	・気温の上昇やワクチン接種の開始などにより、新型コロナウイルスが終息に向かい、人々の動きや経済活動が回復し始めると予想する。
	○	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で厳しい状況だが、将来的には景気は良くなっていくのではないかと感じている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・当地では新型コロナウイルスが終息してきている。
	○	一般レストラン（経営者）	・気温の上昇で新型コロナウイルスの感染拡大は少し収まり、それに伴って客足が少し戻ってくるのではないかと考える。
	○	競輪競馬（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の準備が具体的に進んでおり、緊急事態宣言発出による効果が具体的にデータに現れてくれば、やや良くなると予想する。
	□	商店街（事務局長）	・1月末に下がり始めた株価がどの程度で推移するか気掛かりである。新型コロナウイルスへの脅威はワクチン接種の進捗状況にもよるが、今より低下していくと思われ、人の動きや消費に活発化の兆しが見えてくるだろう。
	□	百貨店（販売促進）	・新型コロナウイルスの終息が見込めない。
	□	百貨店（営業管理担当）	・新型コロナウイルスへの警戒から来客数が減少傾向であるが、今後、ワクチン接種が予定されているため、横ばいで推移すると予測する。
	□	スーパー（企画担当）	・外出や外食が安全にできる環境にならない限り、家庭での食品の消費が増加している状況は変わらないと推測する。
	□	コンビニ（店長）	・第3波が落ち着き来店が増えると考えますが、感染者の状況に振り回されるので、通常の店舗運営ができず、利益が出ない状況が続くと考えている。
	□	コンビニ（商品担当）	・ワクチン接種が消費動向にどのくらい効果があるか読めない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるまでは現状のままだと思う。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	・ワクチン接種や特効薬などが実用レベルに広がるまでは厳しい状況が続くと思われる。
	□	家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が見え始めてきたが、開始が3か月以上先のため、景気の回復はまだ期待できない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きつつあるが、自粛ムードは継続し景気も良くならない。
	□	その他専門店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなかでは、節約志向が多く見受けられるので、余り多くの物を買わない。
	□	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・新型コロナウイルスの終息がみえないと客足は戻らないと予測しており、現在の景気が悪い状況は変わらない。
	□	一般レストラン（経営者）	・ワクチンの効果が出ることを祈るしかない。
	□	都市型ホテル（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されるだろう2～3か月後くらいから、若干明るい兆しが出てくると期待している。ただ、今の予約状況だと非常に悪い状況のまま推移すると考えている。早く新型コロナウイルスが終息することを祈っている。
	□	旅行代理店（営業担当）	・今の環境では先の見通しが立たない。

	□	タクシー運転手	・3～4月は卒業、入学等のイベントがあるが、当地の大学は卒業式がリモートになり、卒業証書も郵送で送るといのが実状である。卒業後の就職先としては自動車関係、鉄鋼関係の業種は枠があると聞く。飲食は時短若しくは営業をしていないのが現状で、飲み屋も3分の1は営業していない。新型コロナウイルスの影響で先が見通せない。	
	□	タクシー運転手	・例年は春になると当地域では遍路客の仕事が入ってくるが、今の状況では期待できない。今は昼も夜も客が少ないので、現状のまま推移するのではないかと思う。	
	□	通信会社社員	・新型コロナウイルスの影響に伴い、訪問販売数が減少するおそれがある。	
	□	通信会社（営業部長）	・来客数は減っているものの、目的がしっかりとある方はある程度来店してくれている。	
	□	通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの終息時期が見通せない。	
	□	美容室（経営者）	・卒業、入学シーズンだが式典ができるかどうかで状況が変わってくる。現状は新型コロナウイルス禍で人が動かないので期待できない。	
	□	設計事務所（所長）	・建設業界では悪くなるという話は余り出ていないが、不安感が先に立っていると思う。	
	▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症に対して有効な営業方法が見つかっておらず、厳しい状況が続いていくと考えられる。	
	▲	百貨店（企画担当）	・自粛生活による消費マインドの冷え込みは、ワクチン等の安心感が広がらない限り、回復しないと思われる。	
	▲	スーパー（財務担当）	・緊急事態宣言が解除になると外食からスーパーへの消費の流れが減少する。また、企業業績悪化による個人収入の減少で節約志向が強まる。	
	▲	コンビニ（総務）	・新型コロナウイルス禍の状況に左右されるが、少なくとも今の状況から良くなることはないと思う。	
	▲	衣料品専門店（経営者）	・現在の状態が続くとしたら相当厳しく、緊急事態宣言が延長になれば、更に厳しくなるのではないかと。当地には影響はないと思っていたが、相当な影響があると感じる。	
	▲	乗用車販売業（営業担当）	・例年4～5月は来客数、販売量共に苦戦するので、景気は悪くなると思われる。	
	▲	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者の再拡大の状況を見ると、先行きは不透明であり期待できない。	
	▲	乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスの終息が見通せないなかで、鉄道や航空機、レンタカーのダメージが大きい。	
	▲	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の長期化により不透明感が強まっている。	
	▲	美容室（経営者）	・外出の自粛が習慣化してくるよう感じる。	
	企業 動向 関連 (四国)	×	商店街（代表者）	・行政指導で地元資本を犠牲にした街ゆえ、これからの時代が求めている街づくりに対して、行政の動きは全体的に射っていない。県外資本中心の街づくりから、地元民間主導への切替えは容易ではない。
		×	一般小売店〔文具店〕 （経営者）	・緊急事態宣言再発令以後、当地は該当地域ではないが、人出は減少している。その結果、来客数及び売上減少につながっている。今後の動向は新型コロナウイルス次第なので、見当が付かないが、すぐに改善することはないだろう。
		×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・予約の延期やキャンセルがあり、新規の予約は入らない。
×		コンビニ（店長）	・緊急事態宣言延長のニュースが出てきたので、しばらく来客数激減の状況が続くと思われる。何の保証も受けられないコンビニはオーバーストアのなか、衰退していくのかもしれない。	
×		観光遊園地（職員）	・緊急事態宣言の延長が考えられる。	
◎		—	—	
○		食料品製造業（経営者）	・現在は緊急事態宣言中で、飲食業、観光業向けの製品の発注が激減しているが、感染拡大に歯止めが掛かり、回復基調になることを期待している。	
○		木材木製品製造業（営業部長）	・新型コロナウイルスの影響で住宅契約数が落ち込むと予想されたが、大手ハウスメーカーの受注量が回復傾向にあることから、30代の住宅購買意欲は余り落ち込んでいないと判断できる。第3波の影響がどこまで出るか不透明であるが今後の受注量は期待できると判断している。	

	○	電気機械器具製造業（経営者）	・最近、地方への転入希望者が多いと感じており、実際に、数字にも表れている。仕事があれば地方に目が向けられるというのが、今のトレンドではないかと感じている。
	○	電気機械器具製造業（経理）	・前月同様であるが、新型コロナウイルスのワクチンを保管する保冷庫の需要が大きく伸びており、今後2～3か月の需要は継続する見込みである。
	○	建設業（経営者）	・第3次補正予算や次年度予算に国土強靱化が反映されていることや自治体において予算執行が間近に迫っていることで、業務量の今後の見通しは明るい。よって、数か月先までは少なくとも、やや良くなると思われる。ただ、問題は働き方改革などによる勤務時間の制限や新型コロナウイルスによる行動制限による生産の低下要素を抱えていることである。
	○	輸送業（経理）	・海運関係の客については、2～3か月先の出荷数量が前年同時期を上回る見込みである。全体的には今後の新型コロナウイルスの影響が不透明であり不安は残る。
	○	通信業（企画・売上管理）	・新型コロナウイルス感染症は寒い時期を過ぎると収まると予測しており、それに伴って広告料が戻ることを期待している。
	○	金融業（副支店長）	・Go Toキャンペーンの一時停止や緊急事態宣言による感染拡大の沈静化、ワクチン接種の具体化により一定改善すると予想する。
	○	税理士事務所	・新型コロナウイルスのワクチンが市井に出回ることで様々な業種の状況が回復していくと思われる。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響でウェットクリーナーの需要が高まり、販売量は一時期増えたが、競合他社や新規参入企業、海外からの輸入物も増え、販売量は需要が高まる以前と変わらなくなった。また今後も同様だと思われる。
	□	化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの影響は不可避であり、その状況がどう変化するかで左右される。第3波のピークを過ぎた感じがしなくもないが、まだ予断を許さず、今後の見通しは立たない。将来的には、いつかは好転すると思うが、短期的には非常に判断が難しい。
	□	建設業（経営者）	・我が社にも新型コロナウイルスの影響が出てきた。
	□	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスとはまだ共存していく必要がある。
	□	通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響が比較的少ない業界ではあるが、現在発令中の緊急事態宣言の影響及び感染拡大状況が取引先や客にどのように影響を及ぼすかが見極められない。
	□	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの第3波の影響が拡大しており、客の販促計画は削減傾向であり、また各種イベントも中止が続いている。ワクチン接種による集団免疫ができない限り、客の積極的な販促展開は難しい状況であり、余り変わらないと予想する。
	▲	農林水産業（職員）	・2月中旬から春商材が動く時期に入る。例年これらの引き合いは業務需要がけん引しているが、新型コロナウイルス禍で料亭等の引き合いは鈍く量販店が中心の動きが見込まれる。量販店は基本的に、利益を確保し売りやすい値付けで販売しているが、卸売価格を引き上げるまでの力強さが無いのが実態である。失業率も高まっており、内食需要も精彩さを欠いている。
	▲	繊維工業（経営者）	・元々、海外への売上比率は僅かであるが、新型コロナウイルスが世界にまん延し始めた頃、一時的に注文が減少した。現在は例年並みに回復しているが、国内も含め、ワクチン効果で収束するにはしばらく時間が掛かり、喫緊での本格的な市場回復は望めない。国内観光地の小売店は持続化給付金などでつないでいるが、元に戻るか疑問である。
	▲	鉄鋼業（総務部長）	・受注量回復の兆しは見えず、臨時休業を余儀なくされており、雇用調整助成金で雇用維持を図っている。
	▲	輸送業（営業）	・例年、年度末となる3～4月に掛けて繁忙期とされるが、新型コロナウイルス禍における生活様式の変化等が消費や流通に及ぼす影響は計り知れず、景気の先行き予測は難しい。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・海外では経済活動の再開が段階的に進む一方で、日本では新型コロナウイルスの感染再拡大や点在する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にある。
雇用 関連	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期に入り、求人の増加が予想される。

(四四)	□	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス禍で企業が不要なコストの発生を抑えている。
	□	職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で休業している事業所からの雇用調整助成金の申請が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。Go Toキャンペーン等により、人の動きが若干増えてきて、状況が緩やかに改善していたが、現在は1都2府8県に緊急事態宣言が発令されており、状況が悪化している。この状況が緊急事態宣言解除まで続くと思われるので、2～3か月先の状況は変わらないと推測する。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルス感染症は少しずつ収束に向かっているが、ワクチン接種が一定数広がるには半年程度の時間が必要であるため、景気の回復はその頃になると思われる。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のために緊急事態宣言が出されている都府県がある状態で、感染状況が収束しない限り、景気は今より良くなるらない。
	▲	人材派遣会社（営業）	・年度末に向けてまだまだ新型コロナウイルスの感染拡大を警戒する季節であるだけに、外出自粛の風潮は変わらないと考える。ますます失業者が増加するとともに、新規採用者の求人ニーズは見込めない状況である。企業においてはデジタル化やRPAを推進して、来年度に向けてどれだけ業務効率化できるかが景気回復への大きな鍵になると考える。
	▲	求人情報誌（営業）	・従来人手が足りていなかった業種でも求人数が減っている。これは、景気が悪くなっている証と考えられる。また、サービス業を中心に離職者が増加しており、景気は悪くなっていく。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスで生じたリモート勤務などは、一部の産業では成長につながるが、リアルな物がないと売上につながらない産業では厳しさが増すので、二極化している。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言の再発令で、今後の展望が見通せない。